



岡山県立瀬戸高等学校「DiSPOT」



観光DX 通過型観光を考える

私たちは、観光客に通過されがちな岡山県の観光の問題について、旅行アプリ開発による解決を提案しました。その研究では、開発だけでなくさまざまな場所でフィールドワークを行い、完成度を上げていきました。最も苦労したのは、データを関連付けると、いただいた厳しい意見をどのように反映させるかを考えることでした。また、当日行われた他校の発表は、現代社会を変えたいという思いがひしひしと伝わり、勉強になりました。このような機会をくださったDIS STEAMゼミ関係者の皆様、フィールドワークに対応していただいた各団体の関係者の皆様、日々の練習にお手伝いいただいた先生方、友達、そして家族に心より感謝を申し上げます。



豊島岡女子学園高等学校
「クローバー」



「遊び」が「備え」になるゲーム



愛媛県立松山南高等学校
「ばーちゃるず2」



No Communication, No Life
防災力・減災力向上プログラム



松蔭高等学校
「よりそい隊」



SNSを見る3分を、考える3分へ「ITOMA」



さいたま市立浦和高等学校
「Blue Bird・AYSIM」



遠隔救援システム「SOSA」



早稲田大阪高等学校
「ベアーズ」



子育てカルテ「MIRUCA」



甲南女子高等学校
「Well Bloom」



コミュニケーションの輪が広がる
未来社会へ

ICTで常識を変える、未来への提案



「日経STEAMシンポジウム」のプログラムの一つとして日本経済新聞社とダイワボウ情報システム(DIS)が開催した「DIS STEAMゼミ」は、大阪・東京の会場をオンラインでつなぎ、22チームの高校生が参加した。生徒たちは今回のテーマ「常識を上書きしよう！ICTが作る未来社会」について多彩なアイデアを発表し、岡山県立瀬戸高等学校のチーム「DiSPOT」が最優秀賞に輝いた。

●参加校

愛媛県立松山南高等学校、大阪府立千里高等学校、岡山県立瀬戸高等学校、神奈川県立平塚江南高等学校、京都府立桃山高等学校、京都女子高等学校、甲南女子高等学校、さいたま市立浦和高等学校、松蔭高等学校、千葉県立柏高等学校、東海大学付属高輪台高等学校、東京都立西高等学校、東京都立白鷗高等学校、徳島県立徳島科学技術高等学校、豊島岡女子学園高等学校、奈良学園高等学校、奈良市立一条高等学校、兵庫県立兵庫高等学校、兵庫県立姫路飾西高等学校、早稲田大阪高等学校(五十音順)

DIS 特設体験コーナー

最新技術を体感



参加者たちはDISが会場内で提供する最新のICT(情報通信技術)や人工知能(AI)を活用した「合成動画作成」「CAD・3Dプリンター」「AR作成」「プログラミング」「ドローン操作」などを実際に体験した。ドローン操作を体験した生徒は「ドローンがプログラミングで動いていることは知っていたけれど、実際に自分で操作してみると使い方のアイデアが広がった」と好奇心の幅を広げていた。

審査員のコメント

コミュニケーション力を磨く



インテル
執行役員 アカウント・パートナー事業本部
本部長
栗原 和久氏

参加者の皆さんの質問は質が高く、探究心を感じた。疑問を持ち続け、AIだけでは得られないコミュニケーション力や創造力を身につけていただきたいと思う。

ICTを熟知し、社会を変える



日本マイクロソフト
コーポレートソリューション事業本部
チャネルパートナー統括本部 担当部長
五十嵐 佳織氏

高校生たちがICTを熟知していることを実感した。防災から観光、不登校まで幅広い分野にそれを活用しようとしていることに勇気付けられた。

組織力でアイデアが光る



サイボウズ
営業本部 パートナー第2営業部
副部長
中江 麻未氏

各チームの発表からは、課題発見や調査、アイデアへの昇華までチーム一丸となって取り組んできたことが伝わり、組織力の輝きを感じた。

発信力で未来を開く



日本HP
パートナー営業統括 第一営業本部
本部長
塩谷 義嗣氏

どのチームもアイデアを伝えるプレゼンテーションのレベルが高く、日本の技術を世界に発信する未来の力を感じることができた。

実現へ向けた行動力を評価



アマゾンウェブサービスジャパン
パートナー技術統括本部
コンサルティングパートナー技術本部
パートナーソリューションアーキテクト
卯月 裕貴氏

アイデアの具現化のために様々な場所で調査をするなど行動力を伴っている点がすばらしかった。

高校生ならではの視点に期待



ダイワボウ情報システム
首都圏第2営業本部兼
首都圏第3営業本部 本部長
吉川 晃平氏

大人が気付かないような課題を発見する視点に驚かされた。今後も新たな課題解決への挑戦を続け、社会をより幸せな方向に導いてほしい。

テクノロジーは熱意で進化する



ダイワボウ情報システム
管理本部 本部長
堤 康次郎氏

課題解決に向けた各チームの熱意に心を動かされ、デジタルテクノロジーはその思いによって進化していくのだと再確認できた。

